

厚生常任委員会資料

令和7年6月18日

病院局

1 報告事項

- ・令和6年度宮崎県立病院事業会計予算繰越計算書 3

2 その他報告事項

- (1) 経営改善に向けた取組状況について 4 - 5
- (2) 医療機関別係数（D P C係数）について 6 - 8

1 報告事項

令和6年度宮崎県立病院事業会計予算繰越計算書

経営管理課

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

(単位円)

款	項	事業名	予算計上額	支払義務 発生額	翌年度 繰越額	左の財源内訳			不用額	翌年度繰越額に 係る繰越を要す るたな卸資産の 購入限度額	説明
						補助金	企業債	損益勘定 留保資金			
資本的 支出	建設 改良費	県立宮崎病院 再整備事業	725,211,000	149,898,604	364,209,618	0	364,200,000	9,618	211,102,778	0	事業計画の見直しによるもの。
資本的 支出	建設 改良費	県立宮崎病院 建設改良事業	10,743,000	0	9,228,853	0	0	9,228,853	1,514,147	0	事業計画の見直しによるもの。
資本的 支出	建設 改良費	県立延岡病院 建設改良事業	660,155,000	153,652,977	312,297,553	0	303,000,000	9,297,553	194,204,470	0	事業計画の見直しによるもの。
資本的 支出	建設 改良費	県立日南病院 建設改良事業	409,015,000	53,115,928	173,084,854	0	163,800,000	9,284,854	182,814,218	0	事業計画の見直しによるもの。
計		4件	1,805,124,000	356,667,509	858,820,878	0	831,000,000	27,820,878	589,635,613	0	

2 その他報告事項

(1) 県立病院の経営改善に向けた取組状況について

経営管理課

1 収益の確保

- 外部コンサルタントを活用した診療報酬制度（DPC制度）への適切な対応

令和6年度 コンサル実施回数 35回（宮崎：10回、延岡：11回、日南：14回）

★令和7年6月から適用される機能評価係数Ⅱ※(令和5年10月～令和6年9月実績)において

延岡病院が2年連続「全国1位」（DPC標準病院群1,501病院中）

宮崎病院：32位（前年度61位）、**日南病院：114位**（前年度198位）

※機能評価係数Ⅱ：在院日数短縮の努力や医療資源投入量、地域医療を担う体制の充実度など診療実績や医療の質向上への貢献度を評価する係数（=DPC病院の通知表）

令和6年度入院・外来収益見込額 対前年度 11億8,165万円増（3.8%増）

※令和6年度診療報酬改定率：0.88%（本体）

宮崎病院：5億5,024万円増（3.6%増）
延岡病院：7億6,287万円増（6.8%増）
日南病院：1億3,147万円減（2.7%減）※主に患者数の減少によるもの

- 抗がん薬混合調製ロボットの導入：宮崎・延岡病院（令和7年度実施）

⇒ 薬剤師病棟業務の充実、DPC係数の向上

2 費用の節減・見直し

令和6年度効果見込額 2億4,725万円

- 医薬品等の共同購入や専門家を活用した価格交渉による費用節減 1億 414万円
- 宮崎大学と連携したSPD（物流管理業務）活用による診療材料費削減 1億2,387万円
- 医療機器等の共同調達による費用削減 1,924万円
- 宮崎・日南病院で原価計算システム運用開始 ※延岡病院は令和5年度に導入済
- 臨床検査の外部委託の見直し（令和7年度実施）

2 その他報告事項

3 各病院の取組

(1) 宮崎病院

- がん医療機能の高度化（IMRT（高度な放射線治療）の導入 等）
 - ・ 令和6年10月：新たな放射線治療医の配置
 - ・ 令和7年3月：IMRT機器設置（令和7年9月頃治療開始見込み）
- 高度な最先端医療の提供
 - ・ ダ・ヴィンチ手術実績：令和6年度：122件（対前年度 + 3件）
- D P C 係数の更なる向上（令和8年度）
 - ・ 「D P C 標準病院群」からより高い診療報酬を得ることのできる「D P C 特定病院群」の昇格に向けた取組強化
 - ・ へき地医療拠点病院の指定（令和7年度事業開始）による機能評価係数の向上 等



(2) 延岡病院

- ハイブリッド手術室の運用（令和6年4月 本格運用開始）
 - ・ 心臓カテーテル手術・検査件数：令和6年度：145件
- 外来化学療法提供体制の充実
 - ・ 外来化学療法延べ件数：令和6年度：3,463件（対前年度 + 34件）
- 高度急性期医療の拡充（令和7年度実施）
 - ・ H C U（高度急性期病床）の増床（12床→19床）
 - ・ 一般病床を16床削減



(3) 日南病院

- 病院機能最適化、病棟再編
 - ・ 稼働病床数：281床 ⇒ 229床（令和6年12月1日付け 52床削減）
 - ・ 病床利用率：58.8%（令和6年11月）⇒ 76.4%（令和6年12月～令和7年3月 平均）
 - ・ 放射線治療装置（リニアック）の稼働停止（令和7年4月以降）
 - ・ N I C U（新生児集中治療室）・G C U（新生児回復室）の規模適正化（令和7年度実施）
- 公立病院等との機能分化
 - ・ 次期地域医療構想を見据えた公立病院のあり方の検討

2 その他報告事項

(2) 医療機関別係数（D P C係数）について

経営管理課

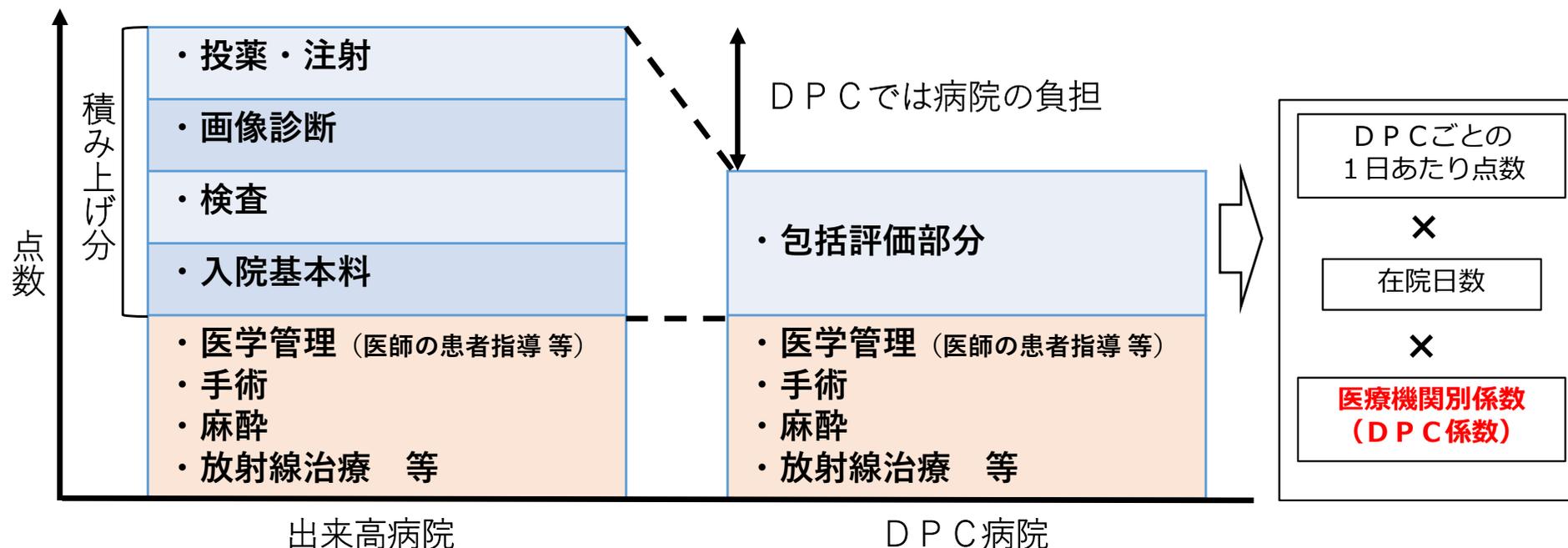
1 D P C制度における診療報酬の算定方法

- ・入院期間中に医療資源が最も投入された傷病名と提供された手術・処置などの診療行為で診療報酬が決定
- ・報酬額は、診断群分類[※](D P C) ごとに設定される包括評価部分と、出来高評価部分の合計額
- ・包括評価部分では、在院日数に応じた3段階の定額点数に、**医療機関ごとに設定される医療機関別係数を乗じた点数**を算定

※ 18の主要診断群に属する約500種類の基礎疾患を元に重症度、年齢、手術・処置の有無、副傷病名の有無などにより分類された約4,500種類の診断群

【参考】 出来高方式の算定方法

- ・入院期間中の入院基本料や投薬・注射、検査など、**提供された診療行為全ての積み上げ**により診療報酬が決定



2 その他報告事項

2 医療機関別係数（DPC係数）について

係数名	評価内容
基礎係数	DPC病院群ごとに設定された基本的な診療機能に対する評価
機能評価係数 I	医療機関の人員配置や医療機関全体として有する機能等、医療機関単位での構造的因子を評価
機能評価係数 II	医療提供体制における効率改善や地域医療への貢献度等を評価
救急補正係数	救急医療入院における入院初期の医療資源投入の乖離を補正するための係数
激変緩和係数	診療報酬改定時の激変を緩和するため、改定年度1年間に限り設定している係数

在院日数短縮の努力や医療資源投入量、地域医療を担う体制の充実度など = **DPC病院の“通知表”**
 診療実績や医療の質向上への貢献度を評価する係数

※届出施設基準、提出データ、地域医療への貢献度等から「医療機関別係数」が決定

※令和7年6月の係数=令和5年10月1日～令和6年9月30日の提出データを元に算出

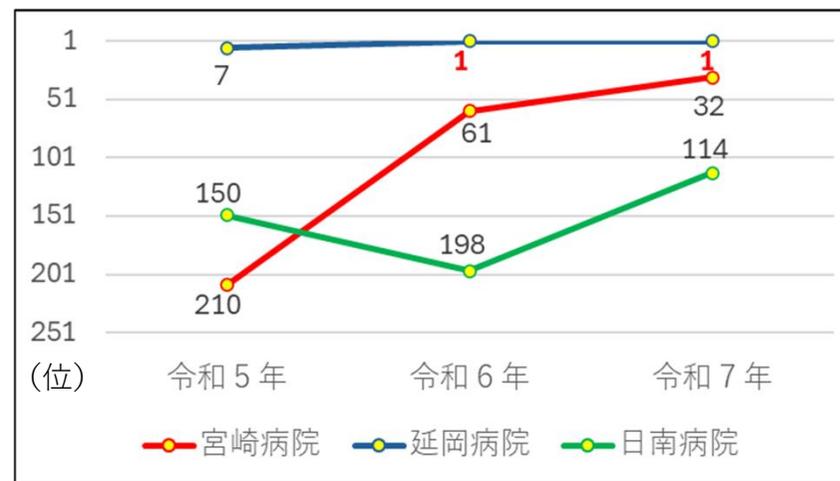
3 県立3病院の機能評価係数IIの推移

	令和5年	令和6年	令和7年
宮崎病院	0.1201	0.1197	0.1259
対前年度	▲ 0.0009	▲ 0.0004	0.0062
延岡病院	0.1694	0.1588	0.1520
対前年度	0.0092	▲ 0.0106	▲ 0.0068
日南病院	0.1270	0.1038	0.1121
対前年度	▲ 0.0114	▲ 0.0232	0.0083

※ 令和5年以前は救急補正係数が機能評価係数IIに含まれていた

※ 診療報酬改定に関連して、DPC制度も見直し

4 県立3病院の機能評価係数IIの全国順位



※DPC標準病院群中

2 その他報告事項

【参考】県内のD P C病院

- ・県内の病院数：129施設（令和5年10月1日時点）「令和6年度宮崎県医療業務事情より」
- ・県内のD P C病院：18施設（令和7年6月1日時点）「厚生労働省資料より」

	市町村	病院群	医療機関名
1	宮崎市	D P C大学病院本院群	宮崎大学医学部附属病院
2		D P C標準病院群	県立宮崎病院
3		〃	潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院
4		〃	古賀総合病院
5		〃	南部病院
6		〃	金丸脳神経外科病院
7		〃	宮崎生協病院
8		〃	宮崎善仁会病院
9		〃	宮崎市郡医師会病院
10	都城市	〃	藤元総合病院
11		〃	橘病院
12		〃	都城市郡医師会病院
13		〃	独立行政法人国立病院機構都城医療センター
14	延岡市	〃	県立延岡病院
15	日南市	〃	県立日南病院
16	小林市	〃	小林市立病院
17	日向市	〃	医療法人誠和会和田病院
18		〃	社会医療法人泉和会千代田病院